

SNSの利用について



インターネットは匿名の空間ではありません。
インターネット上の行動は特定されてしまうものです。

これから横浜市の教員となるあなたは、

「公務員であるあなた」

「横浜市で働く教員であるあなた」

「うちの子が通う学校の先生であるあなた」

「わたしの先生であるあなた」

として見られていると自覚することが必要です。

1 不適切な投稿はしない

過去の自分の投稿を振り返り、教員として不信感をもたれるおそれのある内容は、必要に応じて削除や公開範囲の見直しを行い、トラブルを未然に防ぎましょう。

身内や限られた相手への発信でも、知人を通じた共有やスクリーンショット等により拡散されることがあります。鍵付きアカウント等の閉じたやり取り、短時間で消える投稿であっても、安心はできません。

一度インターネット上に発信したものは完全に削除することは困難です。軽率な投稿が大きな影響を及ぼす可能性があることを認識しましょう。

2 児童生徒とSNSでつながらない

SNSで児童生徒をフォローしたり、DMなどで個別にやり取りしたりすることは、トラブルや誤解を招くおそれがあります。私的なSNSを通じた関係は、公私の区別を曖昧にし、教員としての信用を著しく損ないます。児童生徒との私的なやり取りは厳に慎んでください。

アドレス等を聞かれた場合には、規則を丁寧に説明し、理解してもらったうえで教えないことが大切です。児童生徒との連絡は、学校で定められた方法で行うことを徹底しましょう。

不適切な投稿例

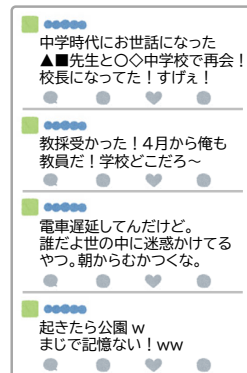
①写真に子どもの顔がはっきりと写っている投稿

子どものプライバシーや肖像権は守られているでしょうか。他人が写っている写真の投稿は十分注意してください。



②個人情報や機密情報の投稿

職務上の秘密や知り得た機密情報は発信しないでください。なにげなく撮った写真への写り込みにも注意が必要です。



③自身をはじめ、学校名や人の名前を載せた投稿

一見すると関係なさそうな別の投稿も、合わせて読むと「教員であるあなた」に対する不信感をもたれるものになります。